夕刊
いわき民報
発行所
平市田町四八番地
いわき民報社
電381 1222

戀さまざま願いの糸も白きより
平市材木町（桜小路）
割烹 さるだ
電話四三六番

總合都計地區に指定

平ほか三市三町

九日から實地調査

六日県を通じ石城地方事務所に「建設省が平、磐城、常磐、内郷の四市、植田、錦、勿来の三町をモデル総合都市計画地区と指定した」と電話連絡があり、このため建設省都市計画課伊藤上妻、渡辺の三技師が来郡し九日から一週間にわたつて同地区の宅地調査を行う

石城郡では七月十五日附で常磐地区「国土総合開発調査指定地区」に指定されて以来、常磐地区の大工業地帯化が企画され、また四市の間に総合都市計画実現の動きが活発となつていただけに、またとない朗報だと関係者を喜ばせている、将来は煙突の林立した常磐工業地帯の中心大磐城市が実現するのも夢ではない

芳賀地方事務所所長談＝福島県財政収入面の三分の一を負担している石城郡はこれまでは広い許りだつた、現在郡内の町村合併も逐次結実し私に言わすれば郡民はもつと大きく眼を開いて大同団結すべきだと思う

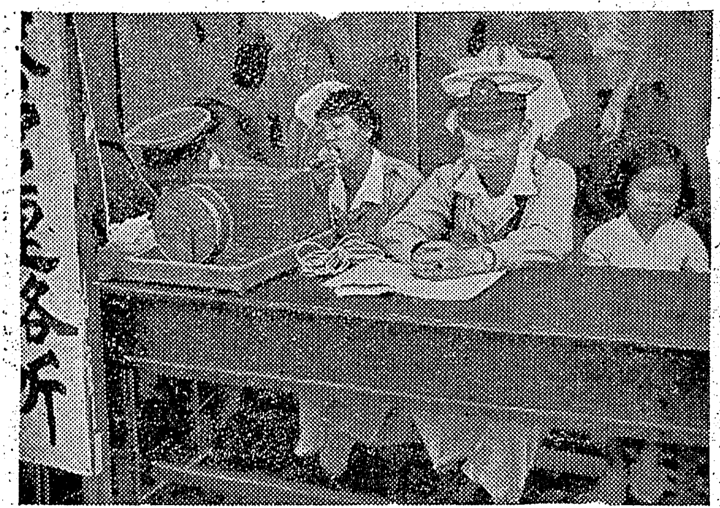
團體で二丁目優勝

装飾は一等平驛、二等釜屋、みよし

七夕祭

平市商工祭協賛会では五日午後二時半から七夕祭りの審査を行い、昼の部で合格したものを今度は夜間の電装その他を審査するため七時半までかゝつて次の通り入選者を決めた、今年は昨年より低調で審査に当つた草野商工会議所専務は次の如く批評した

昨年より低調だつた、造形装飾の方は金と暇さえあれば発展の余地はあるが、笹飾の方はどこもマンネリズムに入つている、今後もつと創意工夫の必要がある、純然たる古典的なものにするか西洋風にするかこゝらで新機軸をつくるべきだ、どの店も笹飾は平凡で残念ながら一等の該当はなかつた、純然たる古典的なものにしタンザクに金、銀色を入れるとかクス玉、吹き流しに趣好を凝らすとか、ビニール、ナイロンを生かして笹飾をして西洋的なものにするか、まだまだ研究すべきだ



（団体）▼一等 二丁目商店会▼二等 四丁目商店会、三丁目商店会▼三等 中央通商店会、一丁目商店会、銀座街▼四等 新川町、五丁目、東栄会の各商店会（造形装飾）▼一等 平駅▼二等 釜屋、みよし▼三等 松月堂かみや、常磐交通▼四等 坂本紙店、やまか、鈴藤、茗荷屋▼佳作 叶多金物店、常磐ヤンマー、根本時計店、森下玩具店、平郵便局（笹飾）▼一等なし▼二等 かみや、釜屋▼三等 常磐交通、坂本紙店、ホシ薬局、やまか▼四等 松崎ガラス店、太平商店、松月堂鶴屋▼佳作 十銭屋、吉田屋呉服店、福山カバン店、武藤コンニャク店（七丁目）北川呉服店

二丁目七夕コンクール

入賞者決る

平市二丁目商店会七夕コンクールは山崎区内会長、古山商店会長、青年会、PTA代表らが審査にあたり五日左の入賞を決めた

▼区長賞＝坂田金物店、叶多金物店▼商店会長賞＝ヤマカ、かみや▼鴻久会賞＝吉田屋呉服店大平小間物店、福山カバン店、鈴木荘介商店、根本時計店、大一屋、白土屋陶器店、ニシキ商会、ふくたや、中野洋品店▼七夕賞＝日東商会、古山電気、白土屋雑貨店、魚清食堂、オリオン美容院、佐藤金網店、富士電機、鍋嘉酒店、平信用金庫、長瀬商店

人出がやく八萬

迷子が二十三名も出た

七夕祭の昨夜賑う

豪華絵巻を繰りひろげた平夏まつりの圧巻七夕祭りは五日夜に至つて人出は最高調に達し、常磐交通が取扱つた見物人がザット六万、平駅の分が五万二千（いずれも乗降者数）とあり、その他市内、近在近郷からつめかけた見物人を計算に入れるとザット八万人ほどの人出で賑わい、街は人の波々々…の渦を巻いた、平署では全署員が総動員して交通整理に当り昼夜兼行の交番なし勤務で夜半十一時まで齋斗マサに汗だくで市内やまと洋品店前の目抜通りに設けた「警察官連絡本部」ではスピーカーを手に紅一点の橋本婦警が迷子スリの用心、拾得物などに声もつぶれるほど放送でサービス、この晩だけで迷子二十三件も発生したが、この放送で全部解決、中学生三年生の迷子も出るほどの人出だつた、この晩はいずれの商店も書入れどきとあつて夜遅くまで開店さしもの不景気もこの晩だけは大繁昌、ほくほくのエビス顔だつたこの人出は昨年の十万に比べ約二割減だつた

（写真は平署事故防止の連絡放送

一等に内山ラジオ

磐城市の七夕入賞者

磐城市の七夕祭りコンクール審査は五日夜小名浜商工会の肝入りで行われ一等（商工会長賞）には豆電燈で飾つた同市本町内山ラジオ店が入賞した、入賞店舗は次の通り

二等（市長賞）本町紙屋呉服店

三等（市議長賞）宇仲島杉田冷菓店、下山江尻民次郎氏　四等（専門店会理事長賞）仲島山田屋履物店、本町小島ゴム店▼佳作 新興紙店、かなりや洋品店、大菱履物店、さんかんや、はちや洋品店▼努力賞 小林船具店ほか九店舗

一等は紙屋

四倉の入選者

四倉町観光協会主催の懸賞付七夕祭りは平市の七夕祭に対抗しようと意気込み国道筋を軒なみに飾つたが、客足は昨年より下廻つたようだ、審査の結果次の商店が入選した

▼一等紙屋呉服店（店主佐藤芳之助氏）▼二等丸伊文具店（店主芳賀勇氏）▼三等平熊薬局（店主永井氏）

信用金庫に町長賞

植田町七夕の入賞者

植田町の七夕祭りは五、六の両日盛大に催された、今年は昨年よりも優秀品が出揃い人出も多かつた審査の結果左の通り、入賞町長を得た信用金庫の傑作天の川の織姫と牽牛との結婚、観協長賞の松屋呉服店の鯉の滝昇り等が断然人気をよんだ

▼町長賞信用金庫▼観光協会長賞松屋呉服店、安田屋呉服店▼一等安田薬店二等金渡、丸三洋品店三等菊地時計店、高月堂都用印版店▼佳作菅野自転車店魚庄、大和屋、東邦銀行、鉄屋商店

内郷市の入賞者

内郷市商工会主催の七夕祭コンクールは沼田市長ら外四名の審査で次の各商店が入賞した

一等佐藤呉服店、二等松本時計店、〃鈴木かおる、三等丸通綴支店、〃竹田金物店、〃マルミ屋商店

一等に錦町福田滿君

内郷のど自慢入賞者

内郷市制祝賀NHK素人のど自慢大会は五日浅野記念館で千五百名の観集を前に約八十余名の出場者が覇を競つた、入賞者次の通り

▼一等イオマンテの夜 錦町福田満▼二等秋田おばこ 内郷市新山トヨエ▼三等水色のワルツ 内郷市伊藤マツ子▼四等都々逸 常磐市会田清▼五等こんな私じゃなかつたに 平市吉川律子

なおこの録音放送は八日午後零時十五分から

佐藤署長も出演

飛入歓迎あす演藝會

平夏まつりの中の珍芸名士及び各界代表納涼演芸大会は七日午後六時から二十米道路旧新川以南広場の舞台で行われる、出場するお偉方は佐藤平署長、小野市議新谷労基署長、ほか岡崎東栄会長、藤浪電気店主、三浦ミシン店主など二十名ほど、さてどんな穏し芸が飛び出すやら、興味深々たるものがあるが、当夜は一般の飛入りも大歓迎で参加賞として商店賞がおくられる

戸部系炭鑛圓滿に妥結

戸部系の戸部、山崎両炭鉱の夏季手当は五日午後三時ごろ次の支給支額で妥結した

【戸部】坑内直接夫千七百円、坑内間接夫千三百円、坑外夫千百円坑外保護坑夫千円

（山崎）坑内先山千八百円、坑内後山千五百円、坑内間接夫千三百円、坑外夫千百円、坑外保護坑夫千円、臨時夫九百円

天気予報

六日

「今晩」北の風晴一時曇「明日」北乃至東の風晴時々曇　海上今晩明日ともおだやか

表彰式を擧行

平七夕まつり入賞者の表彰式は六日午後一時から平市役所会議室に開いた

石橋五段と座談會開く

あす住吉屋本店

明大の至宝石橋猛次郎五段を招き磐高柔道部では目下猛練習を続けているが（九日まで）、明七日午後六時半から平市紺屋町住吉屋本店で石橋五段を囲み柔道座談会を開く、集まる人は関内代議士、木村参議員、諸橋元三郎、野崎磐八郎、山崎忠兵衛、臨港鉄道浦田社長、元磐高師範青田目六段の諸氏で磐高柔道部が往年の力量を発揮するにはどうすべきかなどが話題になるらしい

岡カ見物

日本人は公私の区別をすることが先進国に比較して非常に悪いそうだ、文学で云うと私小説というものがある、外国にはこれは殆んどない、私事を書いたものだから一般には無関係である、ところが日本人は他人の内証ごとを知りたがるクセがあるから私小説が売れる▼文学ならこれでも別に害はないから文句を云う筋合ではないが、立花磐城市長は急を要する橋でもないのにマーケット橋を造ることにしたことは公私をこんどうしているように思う▼市長選挙に小野幸次郎氏が応援したからその功に報ゆるという私情が多分に働いてやつたように受取れる▼金額は僅か十五万円ばかりのものであつても市民の血の出るような金で造るのだから飽く迄公共的立場に立つてやつて貰わないと困る▼マーケット橋は一営業者の利便のためではないのか、生命の危険にさらされている橋などを先に造るのは順序だ、予算が無いという理由もあるだろうが▼兎に角土木事業で一営業者や一党一派の利益を図ることは地方行政のぶち壊しになる、飽くまで公共的立場から公平に市政をやつて貰いたい

磐高同窓會員に告ぐ

来る八月十日午後一時より母校において昭和二十九年度総会を開催いたします
会員諸君御誘合い奮つて出席願います
なお総会終了後簡単な懇親会を開きます（会費二百円）
昭和二十九年八月五日
磐高同窓會

セイパンニュースNO80
今日は何の記念でしょうか
それは九年前のこの日広島市に世界で初めて原子爆弾が投下された悲しい想い出の日です。
今や原、水爆弾を禁止させようとの声が高まりその波紋はアメリカ、イギリス、インドなど世界各国をゆり動かして居る。
あの日から九年目の原爆記念日です。
私は原爆はきらい、パンがすき
セイパンの栄養パンを毎日一食
今週特売（土・日） 特売以外の品一割サービス券進呈
玉子パン 百匁 特價五五圓
チリ入パン 百匁 特價五〇圓
パンとオヤツの店 平製パン
かじ町電二一 一二五七

主催 平市
平競輪
先頭責任制レース実施
（13レース）
場外 福島市 郡山市 若松市 平市
8月 6 7 8 13 14 15

ご中元とは返禮に困るものなり
タオルを頂いたのにタオルのお返しでは変だし、昨年と同じ品でも困るわと気をつかつていられるお方は一度藤越でご相談下されば、すぐ解決します。
●箱入ハンカチ 一〇〇－千弐百円
●カネボウ毛糸半ポンド 八〇〇円
●風呂敷箱入 八八－二七八円
●敷布〃 二七〇－六五〇円
藤越
小名浜
平市

『いつ迄もお待ちしておりますわ』②

桑島信雄

過去二年間、化学、物理で散々にたゝきつけられた腹いせに三年になつて本を手に入れると直ぐ猛烈な勢いで一年間でやるべき生物の本を一月かそこいらでやつてのけた。一期の試験には他の科目はよくなかつたが、国語と生物、中でも生物は抜群であつた。クラスで常に一番を誇つている菊地君（この時彼の点は60）を抜いて90点頂戴した時には嬉しかつた。生物の山本先生は点のからいので有名であつて先輩諸君から七色（からしのこと）の異名をプレゼントされた程である。然るにその先生に頂戴した90点であるから嬉しさは一しおである。生物と名のつく物はおろか元来余りすきでなかつた先生も山本先生だけは非常に好きになつた。

晴れた日曜日にアルバイトの金全部をなげうつて購入した採集道具を背負つて好んで野山に出掛けた。日の早く没するのを恨めしくも思つた。

自分の部屋にと当てがわれた四畳半の三分の一はこれらの採集物で埋まり今まで本棚で断然威勢を誇つていた文学書が生物の本に圧迫されるようになつた。謙一はおのれの冷汁しぼつたにくきその花をじつと見つめてやつた。おまえが何と思つていようと、俺ア知らないといつた様な冷静な姿でひよんとすましているその花についには我しらずにくしみを忘れて生物学的関心を集中している自分を見出した。謙一の頭には、高山植物の項の開かれた生物学辞典が浮び上つて来た。

これは確に「いはききよう」だと頭の中の本と見較べて見る。興味がいつもの様に湧いて来ると今まで気がつかなかつた色々の植物が目に入る。実に珍しい物ばかり謙一は目を見張つた。そしてこれらが自分の部屋一杯に飾られるのを想像してみた。今更の様に採集道具を持つて来なかつたことをくやむと同時に、前以つてこのようなところに連れて来ると教えてくれなかつた心中の虫を恨めしく思わずには居られなかつた。

足を伸し、視野を拡げると次から次へと面白味が増してくる。そしてそれ以上に疑問の加わつて来るのには困つた麓には平地と同じ植物が繁茂して山麓帯をなし、落葉濶葉樹、針葉樹等の分布する喬木帯を過ぎると潅木帯に入り、更に高山の美を飾る草本帯になるというように事一つの山に例にとつても一定のきまりをなして群生しているものと先生にも教わつたのに、事こゝに関しては皆ゴチヤゴチヤに全部といつていい位繁茂していて、創造主の支配外の観を呈している。それにこんな日の当らないところに茎の太いガツチリした草花が育つことすら不思議なことではあるのに。矛盾だらけに謙一は呆然とした。

今更自分の知識が根底からくつがえされるのを黙つて見ているのには忍びず、さればといつて眼前の事実は事実として否定出来ないから困るのである。「謙一さーん」突然、金切声が沈黙を破つた。遠いところの声だが謙一にははつきり聞きとれた。俺の名を知つている者がいるとすれば、矢張俺はいつもの裏山にいるのかと思つてみた。

そう言えば、あの声はきまつて夕食時を知らせにくる女中のきよの様でもある。「おーい、ここだよー。」嬉しさが込み上げてくる弟の信次が待ち切れずひとりで食べているそばで今か今かとお汁のさめるのを気にしながら、そわそわしている母の姿が目に浮んで来る。大して腹もすかないがまた母が心配しているだろうと思うと、済まない気も起つてくる。謙一は声の方にかけ出していた。「ここよ。」余り走り過ぎたのか、二度目の声は後の方にあつた。お互に方向を少し誤つて走つたと見えてのことかも知れない。直ぐ背後に笑顔を認めて「きよかい？」と言おうとしたのを危くかみ殺した……何とそれは見知らぬ顔だつた。彼女は相変らず笑顔を崩さずほんのチヨツト頭を下げたようであつた「あ、あなたですか。今僕を呼んだのは。」顔が充血して来るのを感じながらやつとそれだけ言つて目を下へやつた。「そう私。」謙一は続けざまに「（それでは何故貴女は私の名を知つているのですか）」「（貴女も道に迷つているのですか）」「（どうしてこんなところに来たのですか）」と心の中でたずねて見た。そして無意識に一歩退いて彼女の方に目をやつた。彼女は謙一の目が何んと思つているかを素早く見てとつたかして問わず語りに次のようなことを答えてくれた。（あの得体の知れない生物が吾心中に住み込んだのはそもそもこの時からである。）地名は難しい名でよく覚えていないが何とか迷境と尾に迷と境のつくのは確かである。

村内を一斉清掃

この程育成モデル村に指定された石城郡大浦村では六日午前九時から村内一斉に清掃が行われた

マーケット橋 遂に建設

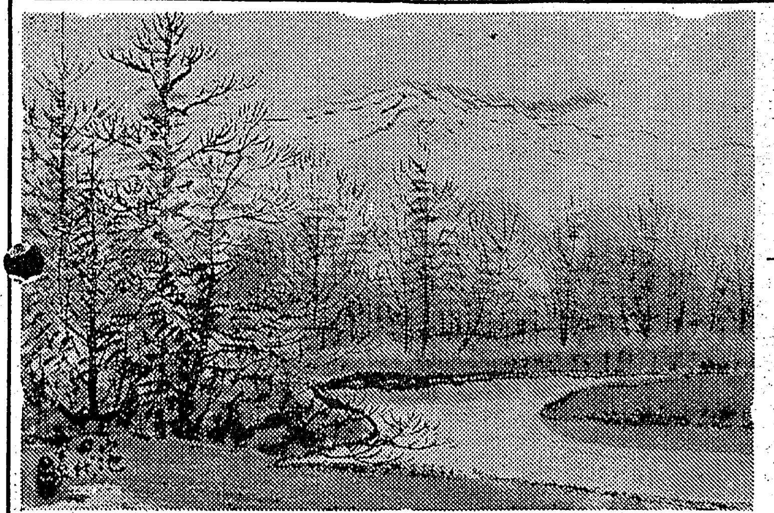
立花土木行政 最初の黒星

解説 ▼…物事には順序がある その順序を間違えるとよく支障が来るものだ、ましてや或る特定の目的のためにその順序を意識的に変えようとすると世論の反発が意外に強く来るものだ、今度の磐城市の〃幸次郎橋〃問題がよいその例でもある、即ち小名浜のバス終点に当る小名川マーケットの真前に橋を架設しようとしたからだ、この附近には小名川橋と観音橋があり財政難の折柄誰が見ても不急の橋であることは事実でむしろ不要の橋であると極論を吐くものも相当ある位だ、然もこれが立花派の重鎮（？）と見られる小野幸次郎市議の顔を立て然も同氏に請負させようとしたからである

▼…大体市会議員が市の土木工事を請負うと云うこと自体慎重にかゝるべきで昔は市議は市の土木事業を請負うことを禁じられていたこともあつた程である、然るに小野（幸）市議はまだ誰れにも請負契約を結んでなかつたマーケット橋に市当局の諒解も得ずして足場を勝手に組み土木課から注意を受けたのである、どうせ俺がやるに決つているとの魂胆だろうがこれ程出過ぎた行為は市議としてどうか、まして立花市長の側近者とも見られる同氏にしては余りに市政を無視した行為でなかつたかと激しく批判されたわけである、勿論このような不急の橋を承認した市議会もまた失態であつた

▼…その後市当局では本紙昨報の如くマーケット橋の請負を渡辺栄氏と契約した、渡辺氏はマーケット居住者の代表で今後同氏の責任に於て工事を行うことになつた、マーケット部落が工事を請負つたと云うものである、このため一応小野幸次郎市議は表面上身を引いた形である、が実際はマーケット内で小野市議に工事を施行せしむと云うことになるらしい、このような経過を得て〃幸次郎橋〃は強引に実現することになつた

▼…急ぐべき橋が後廻しになり不急の橋が然も吾々の血税によつて施工されつゝある、市土木課の馬上課長の説明によると腐朽している観音橋は百九十二万円で延長十二米、幅員六米の鉄筋コンクリートの頑丈な橋を作ると云う、但し財源の確保が出来てからで小名川河口の小名浜臨港鉄道わきにも橋が必要だがリヤカーの通れる程度の幅の狭い橋でも約二百万円はかゝるそうだ、これは県からの補助もあるので政治的に解決すれば実現は望みなきに非ずと云つている急ぐべきものから急いで仕事をして行くと云う簡単なことを取上げて実行して貰いたい、不要な橋が公共的に見て絶対急ぐべき橋よりも早く出来ると云うムジユンを排除する為に〃幸次郎橋〃は市民に大きな反響を呼んだものであつた今後の立花土木行政についても好いものには大いに共鳴したい、また不純があれば五万市民と共にそれを飽き批判を浴びさせたいと思うものである（伊藤記者）



南會津山の旅

繪と文 大平華泉

七月二日終車にて上野発ー上越線沼田ー大清水　七月三日大清水ー三平峠ーひうち力岳登山ー長蔵小屋　七月四日沼尻ー尾瀬原ー三條滝ー温泉小屋　七月五日ひうち岳裏林道ー横田代ー御池田代ー七入ー檜枝岐村ー丸屋旅館　七月六日檜枝岐ー会津駒力岳ー中門岳ー丸屋　七月七日檜枝岐ー小繋峠ー小峠ー木賊の湯ー唐沢峠ー湯の花温泉滑滝　七月八日松戸の原ー中山峠ー田島町ー塔のへつりー湯の上温泉滑水館　七月九日終日休養　七月十日田島ー山王峠ー川治温泉ー鬼怒川ー東武日光線ー雷門

御池田代 ①

尾瀬沼を探勝しても燧裏林道を訪ねる人は実に少ない、この地こそ尾瀬の奥の院である太古の如き樹林、池塘、越後国境連山の眺望がすばらしい稀に見る神秘境で広野千畳の姿をひろげている、田代と云うのは湿原池塘を昔の人達は神様の作つた田圃だと考えていた、また横田代、上田代が近くにあ

時計の店
根本
平2電607

夏のニユースタイル
新型紳士服　婦人服　洋品
名極入荷
鈴木勘氏商店
第1平市一丁目電1638　第2平和通り電732

8月4日　平夏まつり　18日

全店納涼特賣中
きせつの品
おくりもの用品
豊富に取揃えて御来店をお待ち申上げます
夜間營業 9時まで
三幸

平市 夏祭プログラム
6日まで　名物 七夕祭
7日午後六時　名士及各界代表 納涼演藝大會　大通り特設舞台
8日午前九時　高校野球大會　平球場
9日午後六時　じやんがら念佛コンクール　大通り特設舞台
10日午後二時、六時　体操と音樂の夕　公会堂
12ー13日午後六時　盆踊大會　駅前通ほか紺屋町角舞台　納涼ほたる狩と演劇の夕
14日午後六時　假装盆踊大會　駅前橋
15日午前十一時　茨城 福島 親善 ラグビー大會　平工グランド
18日午後二時　市内商店街協賛 花火打上げ合戦　市内参加店
18日午後六時　流燈花火大會　夏井川
21日午後二時　月例 三夜市　平和通り

9日午後6時
卅米道路舞台
じやんがら念佛コンクール
協賛　じやんがら本舗　みよし
銀座店 仲田町店 電691 工場電1703

盛況御禮
大黒屋のお盆前三つの思い切り市
4市5店共通商品券　御利用下さい 200より調製
◇皆様の絶大なる御支援御引立心より御禮申上げます　お盆前更に思い切つた奉仕品を差加えて
①ゆかた2000反均一大奉仕②盛夏リップル服地均一大奉仕③婦人子供盛況御禮にお應え申上ます
東京本染一流メーカー品を始め続々思い切り値發表!!
平本店へ集中發表!!
二九〇圓　三五〇圓　三九〇圓　四五〇圓　五〇〇圓　五八〇圓　六八〇圓　七八〇圓　九八〇圓
お盆前の御用意に皆様の衣料生活の引下げに努力しました
120圓 98圓 85圓 60圓
新柄を大量追加しての大奉仕
舊柄半額の御買徳品も差加えて
ワンピース 婦人・子供 ワンピース
半値に近い 新安値 續々發表
メリヤス肌着思い切り値發表!!
皆様の利益を護る店
大黒屋
平本店 平支店 金坂店 湯本店 小名濱店

四時川へ注ぐ 選炭汚水が有害
十一日 關係者で對策協議

愛国炭鉱の選炭汚水にからむ汚水処理協議会は十一日午後一時半から石城地方事務所会議室で開き、地方事務所長、町村会理事長、錦町長、石炭協会長、石炭支局長、石炭保安部長など関係最高主脳部が参集し、この程分析された汚水検査表を中心に結論が切り出される予定であるが、石炭汚水に幾多の問題が複雑しているだけにその成行が注目されている

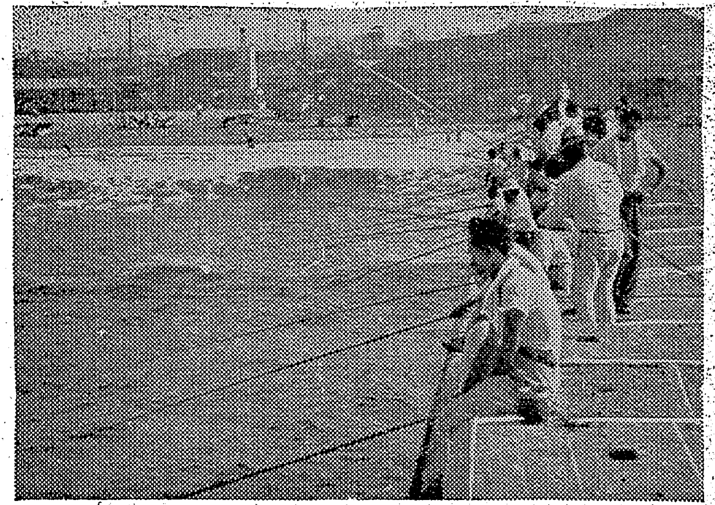
去る七月二十五日町村会、石炭支局の両者立会の上四合瓶二本に採取した汚水は、一本を石炭支局で一本を呉羽化学（町村側の依頼）で分析中だつたが、この程両者の分析結果が町村会に提出された

町村会では両者のデーターに基き慎重に検討を重ね十一日の協議会で決定する予定であるが❶県が呉羽化学誘致の條件として四時川を工業用水として優先利用を申入れた❷愛国炭鉱の所在地形から他の汚水の適当な排水処置が考えられない❸四時川を灌漑用水として利用する錦町では硫酸イオンを含有する同汚水は絶対有害であると主張❹愛国炭鉱では町村会の決議に従う旨誓約書を入れているが、僅か月産一千トンの同炭鉱では汚水の排水溝新設、選炭場の移転などに要する費用五百万円の支出能力がないなど問題は三重にも四重にもからんでいるので、十一日の同協議会前に関係者内では微妙な動きを見せその成行きが注目されている

五方部で法律相談
八日から 明大學生會

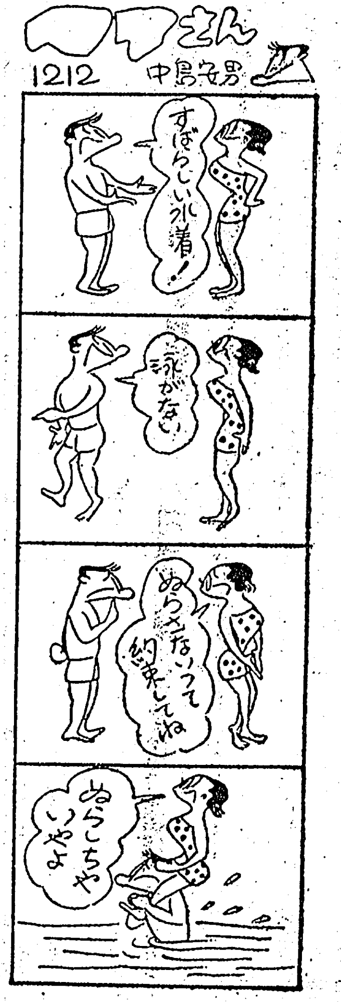
明大石城学生会（会長佐治学一氏会員百余名）では会・結成記念行事として「無料法律相談」を左の日程で郡下五方部で開催する、相談担当者は同校出身の弁護士佐藤光将、市井茂、秋元元作、増田梅蔵の四氏で相談内容は金銭貸借、借地借家、親族、相続、商事、手形など何んでも

▼八日十時—四時　内郷市役所会議室▼九日　勿来町公民館▼十日　磐城市公民館▼十一日　常磐市公民館▼十二日　平市公民館



石もち釣りで大賑い

磐城市小名浜海水浴場に「石もち」の群が押寄せ海水浴と魚釣で賑つている、特に満潮のときがよく釣れるので朝夕は沢山の人が押寄せ多く釣る人で三十尾位とれる、面白い程かゝるので子供まで糸をたれているが打寄せる土用波に涼を求める釣天狗はよい漁場を得て大喜び（写真は小名浜海水浴場の石モチ釣り）


ヘフさん
1212
中島安男
すばらしい水着！
泳がない
ん
ぬらさないって約束してね
ぬらしちゃいやよ

天狗60名参加
射撃大會盛況を極む

平市射撃倶楽部トラップ射撃大会は五日平市谷川瀬常設射場で午前八時より開催、県内は勿論茨城県などから天狗連が六十余名参加、盛況を極めたほか射撃成績も殊に優秀で満点獲得者が出た、成績左の通り

▼Aクラス❶二回満点馬目太平治（内郷）❷二回満点平戸精一（水戸）❸同渡辺登（平）❹一回満点白土嘉伯（平）❺同佐藤辰雄（飯坂）❻同鈴木将夫（郡山）❼同後藤元広（郡山）❽同瀬谷（茨城）❾同白石源一（神保）❿同山野（水戸）

▼Bクラス❶一回満点関根忍（勿来）❷同堀川（相馬）❸同斉藤義雄（白河）❹同川瀬（若松）❺同中村❻富士田（植田）❼大谷❽中野（上遠野）❾はなわ（平）❿菊地

▼時間奨励賞❶馬目太平治❷佐藤辰雄❸鈴木将夫

手長娘、今度は家出
心配の母から捜索願

去る七月六日常磐市内の呉服店から反物専門に盗みを働き入質して生活費にあて常磐署に検挙された同市笠井四湯本一中二年A子は七月十六日母親には内緒で年令を偽わり市内吹谷特飲店某方に女中として住みこんでいたが平に行くといつたまゝ帰宅しないので母親キサヨさんは常磐署に捜索方を願出たところ、特飲店にいることが判明、一応家に連れ帰つたが再び近所の元接待婦の世話で東京都向島の特飲店に世話され三日上京したことを市福祉事務所の調査で判明その行方をさがしているが、人身売買の犠牲ではないかと案じられている、A子の家庭は母親と妹（湯一小）兄の四人ぐらしで、母親は藤原の救済事業に従事しているが生活程度は低く子供の教育については全くの無関心でA子が何の理由もなく長期欠席をしていても注意することもなく、無軌道な生活であつた

市福祉事務所金士氏談「この問題については連絡もありA子の行方を探していますが住所が判明せず弱つています、特飲店にいたことは事実ですが年令を偽つたとは言えまだ十四才の子供ですから雇入れ側でも親の承諾書や戸籍抄本をとるべきです、当然児童福祉法違反に該当することでしょう」

組主任某教諭＝「学校に来いというそれ自体が無理です、全然学校は嫌いだし親も無関心で何度も家庭訪問をしたが結果は同じです、A子の件について警察から連絡がありましたが今はどこにいるのか不明です」

リアはタナカ

出刃で斬る
暴れ少年擧る

磐城署では四日午後八時四十分ごろ磐城市永崎字大平無職作山某（一七）を傷害現行犯で逮捕した、調べによれば某は同日夜飲酒のうえ同市永崎漁夫作山末三さん（四五）方を訪れた際、末三さんから「真面目に働いてはどうか」と注意されたのに憤慨し、同家で出刃庖丁を振り廻し止めに来た隣家の日雇人夫佐藤義夫さん（三五）の右手首に全治二十日間の傷を負わせたもの

病院を脱出、自殺圖る
三名が發見川に飛込救助

常磐市傾城東区常磐炭鉱四坑工作夫草野豊寿さん（四五）は六日午前八時三十分ごろ内郷市御台境町坂下地内にある新川堤防で手拭をもつて首をしめ自殺を図つたが死にきれず苦悶のあまり新川に飛びこんで約三十米位ながされていた所を通行中の内郷市消防団員大平正直さん（三四）と常磐炭鉱勤務の山本友一さん（三六）同草野正雄さん（三五）が発見、とびこんで救助し共立病院にかつぎこみ手当の結果一命はとりとめた、草野さんは去る四日肝臓が悪くて同共立病院に入院加療中だつたが病状が思わしくなく神経衰弱が高まり五日午後八時回診がすんだあと同病院をとびだし現場附近をうろついていたもの

櫻人形造り
植田で講習會

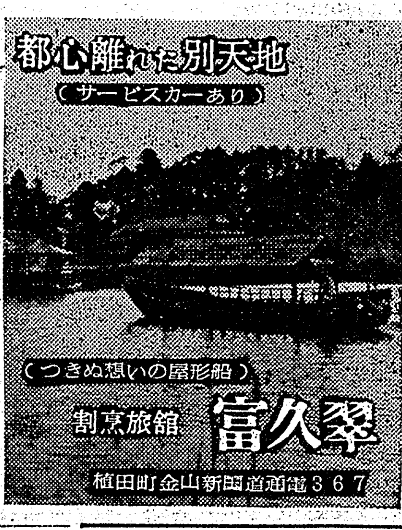
植田町のドレスメーカー女学院では四、五の二日間桜人形製作の講習会を開いた、講師は原町市の橋本キヨ子先生、受講者は百名に達し非常な盛会であつた、講師の橋本さんは左の如く語る

「此の桜人形は日本風と洋風の二種で顔面は布で作つたもの、それは一定の型があつてプレスで押すとマスクが出来る簡単なものです（砲金の型）製作費用は大体一個一五〇〇円程度でこれを販売するとすれば二七〇〇円位でしよう特に戦後各階級婦女子に愛好普及されて来ました」

（写真は優雅な人形造りのお嬢さん方）

亀寿司
お喰い
平市田町東銀座電一六九

外科
胃腸科
泌尿器科
性病科
眞木醫院
平市南町（公会堂通）
電話一一九五番



都心離れた別天地
（サービスカーあり）
（つきぬ想いの屋形船）
割烹旅館　富久翠
植田町金山新国道通電367

整形外科
内科
外科
レントゲン科
理学診療科
入院随時
【看護婦募集】
竹林病院
平市十五丁目大通り
電八二一・六〇八番
院長　竹林貞吉
医員　中川増郎
　　　鳥山眞直

平運動具店
平市才槌小路
デンワ108

常徳院の新盆にあたりますが時節柄提灯お供物など一切御辞退いたします
平市田町四甲陽館
武田都弘

光嘉院の新盆にあたりますが時節柄提灯お供物など一切御辞退申上げます
平市三丁目二四佐野屋
猪狩幸三

慶尚院の新盆にあたりますが時節柄提灯お供物など一切御辞退申上げます
平市田町三五
寿々の家
佐竹スミ

碧雲院（小松新平）の新盆にあたりますが提灯お供物など勝手ながらご辞退申上げます
平市南町七一
小松茂

暑中御伺い申上げます

呉羽化学工業株式会社
錦工場

菊多校長會

勿來郵便局長　赤津作衛
勿來驛前郵便局長　星勝美
川部郵便局長　小野光輝
勿來酒井郵便局長　園部茂

磐城通運株式会社勿來支店
支店長　赤津懸一郎

醤油　味噌
坂本商店
植田町電話一一〇番

既製品と呉服類
大和屋衣料品店
植田町電話三二六番

錦町十和會
会長　赤津幸之冠
副会長　佐久間清一

合資会社
松屋呉服店
植田町電話三〇九番

天保の大飢饉に於ける
仁侠庄屋佐藤愛之助

根本忠孝

この稿は私が数年来、前後五回に亘り田村郡滝根町大字菅谷の佐藤家を訪うて古文書を調べ庄屋佐藤愛之助の事蹟を尋ね、これを基として彼の辿りし跡を探り且つ「白井遠平傳」などを参考にして書きつゞりたるものである。

一、まえがき

阿武隈山脈の最高峰大滝根山が雲に聳え、夏井川の清流が源を発するところ、旧三春藩秋田信濃守の領地菅谷村（今の田村郡滝根町大字菅谷）である。この僻村菅谷の百姓佐藤家に時は文化十年（一八一三年）玉のような男の子が生れた、名ずけて愛之助と云う。この年はわが日本に露艦が国後（北海道）に高田屋嘉兵衛を送りて来航、同時にゴローニンの釈放を求めた年である。

二、天保四年七年 両度の凶荒

佐藤家は源義経の郎党継信、忠信一族の流れより出でて永く此の地に百姓を生業とするに至つたと謂われている。菅谷村に信望ありて代々庄屋を勤め、愛之助も長じて十八歳、即ち天保元年（一八三〇年）庄屋の職を襲つた。

こゝに特に一庄屋佐藤愛之助を傳せんとする所以は、彼が天保四癸巳年（一八三三年）の大飢饉に際し身を捨て、窮民の救済に尽力し、更に同七丁申年（一八三六年）再度の飢饉には窮民が日に日に餓死してゆく惨状に仁侠に富める愛之助は、大滝根山頂に低迷する黒雲を眺めつゝ憂心をつのらすのであつた。

三、極度の食料缺乏

翌けて天保八年（一八三七年）の春に至ると、四年七年両度の大凶荒重圧による極度の食料欠乏に怖しい深淵は一歩々々近づいて来た。牛馬犬猫、木皮草根、さては谷地稗まで食いつくすと後は何も食うものがなかつた。

親死すとも葬らず、子斃れても顧みず、夫婦別れ、兄弟東西に狂奔し、盗賊四方に跋こして文字通りの骨肉相喰む悲惨な事実は到るところに展開された。

四、藩主の態度

斯うした惨憺たる苦境に直面している領民に対して、当時の三春藩主は如何なる態度をとつたであろうか。何等の救済策を施さゞるのみならず、まず「穀留」と称して厳しく他藩との穀物輸出入を禁じた。勿論これは全国的に行われた当時の法令である。この「穀留法」が布かれたために其の結果は却て窮民を身動きならぬ餓死のどん底に陥れたのであつた。

五、庄屋愛之助の英断

庄屋として愛之助は、この村内の喰うに穀物なき窮民がバタバタ斃れる修羅八荒の生地獄を見てはいかでか默視して居られよう。─救済策は如何─藩主へ貯米公庫「郷倉」の解放を建言し哀願せんか？藩主の指令は必ずじんせんとして其の機を逸するであろう。餓死する者は日一日と殖えてゆく、藩令の重ずべき固より解せざるにはあらぬども、一刻を争われぬ今、窮民救済の策は一身を犠牲にして最後の処置は、遂に藩主より預りある公庫「郷倉」を開くに至つた─嗚呼義人の英断の尊さよ。─藩主の許可なくして「郷倉」の貯米を放出した独断専行は、もとより愛之助が身命を賭しての事であつた。したがつて村民の生命を救助することは出来得たが、兎に角この挙は情に問えばゆうじよすべきであるも、藩令の断ず重き処罰は当然免るゝことが出来なかつたのである。愛之助はもとより一族近親までも厳罰を蒙ることに至つた。

六、夜中の袂別

こゝに慮るところあり、愛之助は他藩に亡命することに肚を決し妻きよ、次弟利傳治、三弟丑蔵の三人を伴つて祖先以来十数代の墳墓の地と別れ、山川懐しき故郷を立ち退くことゝなつた。村民は如何にもして此の義人愛之助を引止めんと、百方苦慮を尽したるも願望は遂に達せられず、愛之助一行は藩役人の眼を偸んで旅装もソコソコに同八年の春は三月、密かに大滝根山嶺を越えることゝなつた。菩提所入水寺の和尚を始め村民は老若男女、夜中のうちに郡境まで見送り、感謝の涙を以てこゝに永久の袂別をなし、この一行の落ちゆく後姿に声を揃えて恙なきを祈るのであつた。

七、他領へ亡命

これより愛之助は世を忍ぶ名を幸助と改め、妻や弟等を引連れて神俣境から東に向つて仙翁川に沿うた深山幽谷の径路を下つたのである。大平記の俊基朝臣が東下りの落花の雪ならで、ここは残んの積雪を踏めば声あるもいと悲しく漸くにして磐城領楢葉郡上川内村（今の双葉郡川内村大字上川内）に辿り着き、酒造家猪狩伊三郎宅に一夜の宿を求め、それより同郡下川内村（今の川内村大字下川内）の庄屋佐久間与五左衛門方に厄介となり、同家は徳川御用木材商を務めたる家柄なるに、こゝにて江戸（今の東京）方面の事情を聴き彼の地方を志して木戸川に沿うて同郡木戸村に出で、浜街道を南に向つて天涯漂然、関東に流浪の旅を続けたのである。時に幸助（愛之助）は年歯正に二十五歳であつた。

八、幸助、西丸帯刀に見出されて白井家を續ぐ

かくて幸助は水戸に慣れぬ角帯前垂れ掛けの店員に身をやつし、或は江戸浅草に寺男となりて庭掃除から雑役に労苦を重ね、又は下野国真岡の名刹円林寺の世話掛りを申付かりたるなどの事蹟挿話はあるがこれらの叙述はこゝに省く。

当時、天下の大勢は内憂外患交々いたり、山雨将に到らんとして風先づすまいに満つの概があつて幕威は漸く傾きつゝあつた。つゞく時勢を達観せる幸助は、いつまでも斯る世外的の日月に甘んじて居りては何れの日にか宿望を達せんものと、常北の漁港大津に移転し茲に暫く魚問屋を開業するに至つた。

転々との浪荒き新天地に腕一本すね一本の悪戦苦闘を続けて来た幸助の尋常ならざる人物を漸く世の識るところとなり、常陽の傑物西丸帯刀の斡旋によりて磐城小川村の名流白井家を続ぐことゝなり、幸助も亦、寄らば大樹の陰とその懇望を受けて妻きよ、一子常松（当時十一才、後の白井遠平翁）と共に白井家に入家するに至つた。これ実に安政三年一八五六年幸助年正に四十四才の時であつた。

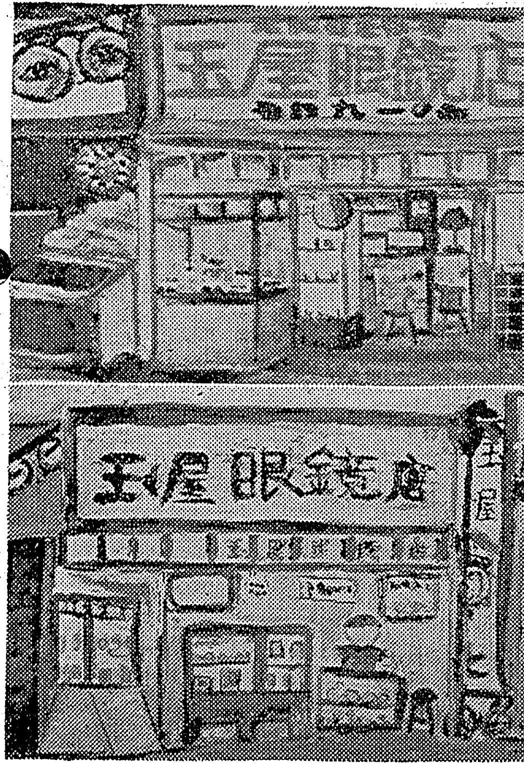
九、むすび

顧みれば天保八年春まだ浅き三月、三春藩菅谷村民の犠牲となつて他国を転々流浪し、あらゆる辛酸を嘗むることに二十年、奇しき運命は廻りまわりて同じ流れを汲む夏井川河畔、山川美しき小川の郷にこゝに始めて安住の磯地を得たのであつた。

現に菅谷地方に於ては、この義人佐藤愛之助の遺徳を讃仰して風光明美の地、入水寺境内に顕彰記念碑を建設して、之を永久に傳うるとの議あるを耳にし、近き将来この美挙あるを期待して此の稿の筆をおく。（筆者は磐城史談会顧問、昭和二十九年八月一日記）

新しいDPは富士

本社主催 圖畫入選作品紙上展



玉屋眼鏡店 平一中二年飯島敏行 平三小六年右色けいじ郎

商店だより

大黒屋の奉仕

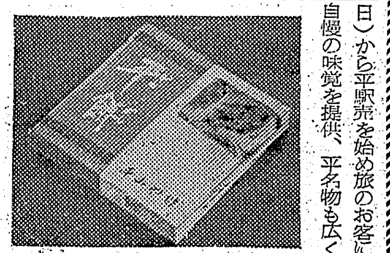
平市三丁目大黒屋平本店ではゆかた二千反を均一奉仕中、二百九十円から九百八十円まで

小型噴霧器

平市銀座通り藤越電気部にアイロンスプレー（小型噴霧器）が入荷した。従来は口で吹いたものを極く指先で押すだけで極めて衛生的霧吹き、盆栽の手入れ、駆虫薬の撒布、生花など用途広く好評、二百五十円

平餅を小型に

平の名物「平餅」は田町松月堂で売出して好評を博し大型二十五円であつたが、大衆向価格にと小型に改め一個十円で発売、美麗函入（九個）百円の手ごろなお値段とし好評を[illegible]いる、旧七夕（五日）から平駅売を始め旅のお客に自慢の味覚を提供、平名物も広く宣傳されるに至つた（写真は松月堂の平餅）



今晩のラジオ

６日

◇NHK 一三六〇KC
六・四五（郡）ラジオ文芸「短歌」
七・三〇 蔵金のいす「高田浩吉」
八・〇〇 講談「亀井能登守」
八・四五 納涼風景「奥多摩の鍾乳洞」
九・一五 劇「水からくり」加藤道子
◇ラジオ福島 一〇六〇KC
六・四〇 ラジオ演芸欄
七・一〇 歌謡ファンタジー
七・三〇 たん子たん吉珍道中
八・〇〇 素人歌合戦
八・三〇 リズムに乗せて
九・〇五 お笑い回り舞台
九・三五 ポルテニア音楽
一〇・〇五 名作「桑の実」

今週の映画

4日…10日

★平館 夜七時 母の秘密 黒いけし
★民劇 夜六時三〇分 愛と王冠の蝶の中に 勇魂よ永遠に
★聚楽館 夜八時 巴里の歓び ローマの休日（十一日まで）
★ひかり座 夜六時五三分 死の砂塵 くつ掛時次郎
★世界館 夜六時三九分 若者よ！恋をしろ 弥次喜多（東海道の巻）浅草の夜

牛と豚肉 ハムとソーセージ 藤越 平電1282

夏の味覚 生ビール 中央通り 東龍軒

かっぽう 開花

眼科
眼科醫院 明雲堂 新妻幸男
平市田町裏番 仲町座９ ひかり館６６

錦町 ホシ友 ホシ友
うまい醤油ホシ友

誰方でも安心して使える
ふくふく綿
2丁目 平製綿KK 電 748 1958

靴は吉田屋

中元 最後の大奉仕

ブロードプリント	１５０圓を１００圓
リツプルプリント	１２０圓を　８０圓
ＭＫプリント	１００圓を　７５圓
優良ギンガム	７５圓を　４５圓
純毛格子トロピカル	９５０圓を４２０圓
大人丸首シヤツ	６０圓より
婦人肌着	７０圓より
婦人リツプルワンピース	６５０圓より
子供ブロードワンピース	２００圓より
婦人ブラウス	２６０圓より
優良敷布	２００圓より
ＫＵブロード開襟シヤツ	４８０圓より
子供踊りはん天	１３０圓より

近江本場かや2割引大奉仕
衣料品のデパート 鈴藤
便利な 商品券 を御利用下さい

第四回石城酒造品評會 優等賞連續受領
吟香に薫る 天宅
山宗酒造店 平市南町 電三一二

健康的で文化生活の基礎
正確な 誠光堂の掛時計
信用をコクコク刻む誠光堂
平市銀座通り 電話一四九六番

ミシン
パインミシン 福助ミシン 芝浦ミシン 日産ミシン
☆チケツトご利用下さい
工場 植田町北台町 電一六
営業所 植田町本町 電呼七〇
飯塚ミシン商會

みな様に親しまれて使われる
綿は スズキ
平市新川町 電四二二番